

そのメロディに魅せられて♪

ドヴォルザーク・イン・プラハ

C1ト07752 篠崎ほか所蔵

今年没後120年を迎えたチェコの作曲家ドヴォルザークのCDをご紹介します。1993年、ゆかりの地プラハで行われた「新世界交響曲」初演100周年記念公演です。小澤征爾指揮、ボストン交響楽団演奏の12曲を収録。室内楽や教会音楽、オペラ楽曲、民俗色漂う舞曲と、さながら幕の内弁当のよ

うです。自分好みの一曲を探しながら、ドヴォルザークを気軽に聴ける作品集だと思います。

参考文献:『チェコ音楽の魅力』

内藤 久子著 東洋書店 762ナ

スタッフのセレクション!

篠崎図書館スタッフが選んだおすすめ本を紹介します

図書館ねこデューイ



ヴィッキー・マイロン著
羽田 詩津子訳
早川書房
B645マ
篠崎ほか所蔵

私は猫が好きな図書館員である。それゆえこの本を見つけた時には「図書館に猫……癒し効果抜群なのは!?」と衝撃が走った。

この有名な猫を知っている方もいるかもしれない。1988年の凍えるようなある日、図書館の返却ボックスに投げ込まれるという不運な体験をした彼は、幸運なことに自分を最大級に愛してくれる人々と出会った。運命的な出会いをした図書館にすみながら、

訪れる人々、街の住人達、世界中の人間の心にその姿を残した図書館ねこのデューイ。

デューイをやや過剰に甘やかしながらも、心底大事に育て見守ってきたのが本作の著者だ。彼女は心が折れてしまってもおかしくないような数々の苦難を乗り越える強さを持ち、デューイとの楽しい日々、別れの悲しみ、様々なことに全力で向き合った。その前向きな姿勢と逞しさは尊敬に値する。

少々刊行年が古い書籍ではあるが、今読んでも心にグッと来るものがある。現代日本の図書館内で猫を飼うということは大変難しく、現実味がないかもしれないが、これは紛れもない実話である。猫と図書館が好きな人には、是非とも一度手に取って読んでみて貰いたい。

編集後記

スマホ首と巻き肩を治すべく、日々鍛錬中です。(風雲ふわふわ丸) / 秋はひたすら葡萄を食べています。(ぱるめりん) / 涼しくなって自転車通勤が気持ち良い季節です。(すずの木) / 食べ物が美味しくお月見イベントのある秋が一番好きです。(卯月) / 高くなった空に流れるすじ雲の気持ちよさが好き。(SPOT氏)

編集・発行:江戸川区篠崎図書館
住所:〒133-0061 江戸川区篠崎町7-20-19
しのぎ文化プラザ内
TEL:03-3670-9102
[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
<https://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>

▶X旧ツイッター! やってます!



図書館報 ぶらっつ ☆ 篠崎

83号/2024年10月1日発行(季刊)



篠崎図書館館長が感じたことなどを記します。

今年も一年間の読書生活を振り返る時期がやってきました。篠崎図書館では、10月1日に発行される図書館報「ぶらっつ☆篠崎」で、スタッフ全員が最も印象に残った一冊を紹介する通称「MIB」があるのです。

毎年実施されるのだから本を読むたびに考えておけばいいものを、いつもこの時期になってから、今回はどの本を紹介しようかと悩むこととなります。

あまり話題になった本だと今更感が漂

うし、かといって誰にも知られていないような本は紹介しても誰も読んでくれないかもしれないし……。そんな余計なことを考えずに、自分が面白いと思った本を紹介する場なのだから割り切って紹介すればよいのですが、いろいろ気になってしまいます。

さて、そんなこんなで私が今年選んだ本はどの本でしょうか? 特集の17冊の中から当ててみてください。ちなみに私はおいしいものを食べるのが大好きです。

図書館からのお願い

図書館内では気を付けて欲しいことが、色々あります。きちんと守って、楽しい図書館ライフ!



密閉されていない飲み物の持込



食 (飴、ガムなど菓子類を含む)



通話・撮影



ポイ捨て



居眠り



騒音



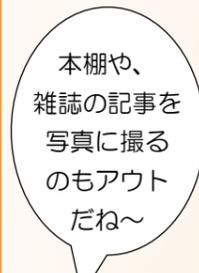
ゲーム



大きな荷物の持込



酒気帯びでの入館



※ このほか、利用者の迷惑となる行為

MIB (Most Impressive Book)

今年も読書週間がやって来ました。特別企画として篠崎図書館の全スタッフが一年間の中で最も印象に残った一冊を紹介します。

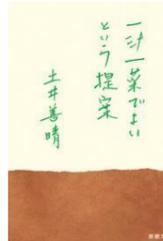
哲学の名著50冊が1冊でざっと学べる



岡本 裕一朗著
KADOKAWA
130才
篠崎ほか所蔵

哲学者たちが著した全てを読み通すのは、なかなか難しい。この本では、新旧の名著50冊の要点をわかりやすく紹介してくれている。そもそも哲学って何?というところから始めるには、ちょうどいいし、教養としてポイントを知っておくのもいいかもしれない。まずはこの本をさっと読んで、自身に合った哲学書を見つけみては?

一汁一菜でよいという提案



土井 善晴著
新潮文庫
B596ト
篠崎ほか所蔵

ご飯を中心とした汁と菜、というシンプルな食事の型。毎日食べても食べ飽きないこの組み合わせ。豪華でなくてもいい、こうした食事の繰り返しで、心地よい暮らし、生活のリズムをつくることのできるのだ。良く食べることは良く生きること。改めて食の大切さを実感できる一冊。

にほんのうた



みの著
KADOKAWA
762ミ
篠崎ほか所蔵

日本の大衆音楽の通史という無理難題に挑んだ力作。現存資料の関係で近代の比重が多くなるのは仕方が無いとして、古くは縄文時代から現在のJ-POPに至るまでの変遷や、どの様な形で存在していたのかが一望できます。

小さいわたし



益田 ミリ著
ポプラ社
914マ
篠崎ほか所蔵

入学式、線香花火、凧あげ。楽しいけれどもちょっぴり不安。でもわくわくドキドキ。幼い頃の記憶がよみがえる。こんなことしてたよねとノスタルジックな気分になる本。昔こどもだったおとなの皆さん、ちょっと疲れたとき、手にとってみませんか。

ダルトニャン物語 1



A. デュマ著
鈴木 力衛訳
ブッキング
953テ1
篠崎ほか所蔵

立身出世を夢見てパリへやって来たダルトニャン青年が、3人の友と出会い様々な事件を解決していく冒険譚。「三銃士」の名で有名な小説ですが、続編を合わせると実は全11巻の大作。フランスとイギリスを股にかけて冒険、彼らの最後の日……。勇敢な銃士達の人生をお楽しみ下さい。

泣くな道真



澤田 瞳子著
埼玉福祉会
LFサ
篠崎ほか所蔵

大宰府に流され悲憤のあまり幽鬼のようになってしまふ道真。しかし、お忍びで博多津へ通ううち、輸入品の目利きをする愉しみを覚える。次第に心身が回復していく様子に安堵し、意外なお茶目さに口元が緩むが、京に思いを馳せる姿は切ない。道真に幸せになって欲しい気持ちでいっぱいになった。

鉱物レシピ



さとう かよ著
グラフィック社
459サ
篠崎ほか所蔵

最近宝石にまつわる物語を読んで、鉱物の奥深さにはまっています。石言葉や誕生石などを見たり調べたりするのも楽しいのですが、この本を読むと実際に結晶を作ってみるのも面白そうだな、とも思いました。鉱物にご興味ある方はもちろん、物づくりに興味のある方も、ぜひお読みください。

はかりきれない世界の単位



米澤 敬著
創元社
609ヨ
篠崎ほか所蔵

この本の目次を見るとこれも単位?と驚くものばかり。ページを読み進めるとその国の文化が透けて見える感じがして面白い。時計のように他人と共有するために考えられたものの筈なのにこんなにもあやふやなものだったのかと、単位に対するイメージが変わるかも。

フランス語スペイン語イタリア語 3言語が同時に身につく本



藤田 健著
かんき出版
850フ
篠崎ほか所蔵

新しい言語を学ぶのは、骨が折れるイメージがあるだろう。しかし、同時に3つ学べるとなると、お得な気がして途端にやる気が湧いてくる。この本では、兄弟のような3つの言語を比較し、共通点と相違点を理解することで、効率的に勉強ができるようになっている。かわいいネコたちと一緒に、ヨーロッパの言語を楽しく学べる一冊。

台湾漫遊鉄道のふたり



楊 双子著
三浦 裕子訳
中央公論新社
923ヨ
篠崎ほか所蔵

第十回日本翻訳大賞受賞作。日本人作家の青山千鶴子と現地通訳の王千鶴が、日本統治下の台湾で鉄道の旅をしながら美味しいものを食べまくる。二人の距離はどんどん縮まっていくように見えるのだが……。彼女達の食いつぶりが凄まじく、物語に引き込まれてしまう。

お探し物は図書室まで



青山 美智子著
ポプラ社
Fア
篠崎ほか所蔵

小さなコミュニティ会館にある図書室の傍に住む人々が、各々の自分に必要なものに気付く連作短篇集。それぞれの話が少しずつ関わりあっているのがとても素敵です。主人公達にきっかけを与えた司書さんに、私も会ってみたいと思いました。

ギリギリ



原田 ひ香著
KADOKAWA
Fハ
篠崎ほか所蔵

夫を過労死で亡くした瞳。同級生の健児と再婚するが、彼は前夫の母、静江とも仲良くなり……。義理と義理が重なった、曖昧で不確かな関係の行方とは? それぞれの複雑な思いや迷い、優しさに引き込まれます。人はどんな状況であれ、関わりたいと思う人と繋がっていてもいいのかもしれない。

宇宙の歩き方 太陽系 TRAVEL BOOK



鈴木 喜生著
G.B.
538ス
篠崎ほか所蔵

宇宙旅行を考えている皆様のためのガイドブックです。宇宙船で3分間の無重力体験。ちょっとそこまで、月や火星の史跡巡り。足を延ばして木星土星。果ては遠くの冥王星まで。各エリアの見どころや移動手段、費用まで丁寧に解説。次の休みに宇宙旅行はいかが?

東大の先生!超わかりやすくビジネスに効くアートを教えてください!



三浦 俊彦著
かんき出版
704ミ
篠崎ほか所蔵

アートには興味が無い?でも、普段読んでいる小説も言語芸術というアートなんです。この本では、アートの必要性や認識の違いなどを会話形式でわかりやすく解説してくれます。もし今何かに行き詰まりを感じていたら、ものの見方がガラッと変わって打開策が見つかるかもしれませんよ。

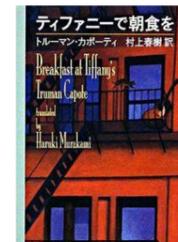
鬼の筆



春日 太一著
文藝春秋
912ハ
篠崎ほか所蔵

「羅生門」で脚本家としてデビューし、「七人の侍」「八甲田山」など数々のヒット作を生み出した橋本忍。書くことに憑かれた「鬼」の人生と名作誕生の裏側を、生前のインタビューと遺された制作ノートなどから明らかにした労作。色々なエピソードを知ったいま、作品を観なおしたくてたまりません。

ティファニーで朝食を 『ティファニーで朝食を』所収



カポーティ著
村上 春樹訳
新潮文庫
B933カ
篠崎ほか所蔵

映画ではラブストーリーでしたが、原作小説では作家志望の主人公が同じアパートに住む奔放な美女に振り回されるお話です。特にハッキリした恋愛描写はなく、友情に近い印象でした。人物の造形がリアルなので本当に誰かの人生の一瞬を見ているような作品です。

計策師



赤神 諒著
朝日新聞出版
Fア
篠崎ほか所蔵

計策師とは外交上の目的を達するために言葉を用いて非公式な交渉をする者のこと。武田信玄の計策師・向山又七郎が甲駿相三国同盟の締結という大仕事に挑む。クセの強い交渉相手にあの手この手を使い奔走する又七郎。武器ではなく、舌と知恵で戦う歴史物語。一読の価値あります。

